CampbellCollaboration

Plain Language Summary
Internat onal Development

2017

ESHG(経済的自助グループ)は女性に力を与える

ESHGは、特にトレーニングと組み合わせたとき、女性に対して経済的、社会的、政治的な力を与えることができる

このレビューの目的は何か？

このキャンベル系統的レビューは、女性のESHG(経済的自助グループ)が低・中所得国の女性たちに及ぼす効果について検討している。このレビューではまた、ESHG会員の女性参加者の経験を通して、女性たちに力を与えるメカニズムについても検討している。レビューは、23件の量的研究と11件の質的研究から得られた知見を要約している。これらの研究の大部分は南アジアで行われた。

女性の経済的自助グループ(ESHG: Economic Self-help groups)は、低・中所得国の女性たちの経済的、社会的、政治的エンパワーメントに対してプラスの影響を与える。

このレビューは何に関するものなのか？

これまで女性たちは、財政的資源、医療、教育、政治への参加が制限されてきた。政府や開発局、市民団体は、この実質的不平等に対処するための女性の自助グループを支援している。

経済的自助グループ(ESHG)は、女性たちに資金を受ける機会も提供、つまり女性たちの経済的エンパワーメントを目的とするプログラムである。ESHGでは、集団内での融資を促進するための一定期間の共同体貯蓄からはじめて、徐々に大きな額の融資を提供する。ESHGの中には、生活のスキルやビジネス・財政的スキル、共同体参加のトレーニングという要素も含まれる。

このレビューでは、低・中所得国の女性たち1人ひとりのエンパワーメントに対するESHGの影響が検討されている。パートナーからの暴力やスティグマ、失望感、個人の幸福に対するESHGによる有害転帰(Adverse outcome)が評価された。最後に、レビューではESHGが女性のエンパワーメントを引き起こすメカニズムを説明している。

このレビューにはどのような研究が含まれているか？

このレビューに含まれている研究は、低・中所得国のすべての年齢の女性のエンパワーメントに対するESHGによる影響を検討している。23件の量的研究(17件はインドとバングラデシュの研究にもとづいている)からエビデンスが得られている。それぞれの研究では、介入なし、つまり「通常通りのビジネス」とESHGの効果が比較されている。また、ESHG参加者女性の視点を通じた女性へのエンパワーメントのメカニズムを調査するために行われた11件の質的研究(9件はインドの研究)が含まれている。

Women at work in a small scale by Albert from the Netherlands [CC BY-SA 2.0]

このレビューはどれくらい最新のものか？

このレビューの著者らは1980年～2014年1月の間の研究を検索した。このキャンベル系統的レビューは2015年11月に発行された。

キャンベル共同計画とは何か？

キャンベル共同計画は、系統的レビューを公開している、国際的・自主的・非営利の研究ネットワークである。我々は、社会および行動科学のプログラムに関するエビデンスの質を評価し、まとめている。我々の目的は、人々がより良い選択そして政策決定ができるように手助けをすることである。

この要約について

この要約は、Campbell Systematic Review 2015:19Economic Self-Help Group Programs forImproving Women's Empowerment: ASystematic Review by Carinne Brody, Thomasde Hoop, Martina Vojtkova, Ruby Warnock,Megan Dunbar, Padmini Mutrthy, Shari L.Dworkin (DOI 10.4073/csr.2015.19)にもとづき、ビアンカ・アルバースBianca Albers (Centre for Evidence and Implementation, Save the Children Australia)によって準備された。再デザイン・編集、レイアウトはタニヤ・クリスチャンセンTanya Kristiansen (Campbell Collaboration)によるものである。この要約の政策にあたりAmerican Institutes for Research for the productionによる財政支援を受けた。ここに謝意を表する。

Centre for Evidence and Implementation

International Initiative for Impact Evaluation

AIR

このレビューの主な結果は何か？

ESHGには、女性が家族数を決定する力や社会移動のような社会的エンパワーメントだけでなく、経済的・政治的エンパワーメントに対してもプラスの影響がある。一方で、女性の心理的エンパワーメントに対してプラスの効果があることを示す質的エビデンスはない。しかし、質的研究によって、ESHGに参加した女性は自分自身に心理的なエンパワーメントがあったと感じているということが示唆された。

財政教育・ビジネス教育や生活スキルのトレーニングのような要素のあるESHGには、トレーニングを行わないプログラムよりも、大きな効果がある。エンパワーメントを促進する重要なメカニズムは、以下の通りである。まず会計スキルを獲得すること（経済的エンパワーメント），つぎに他の人の前で発言する能力や、家庭内の意思決定に参加する権利を獲得すること（心理的エンパワーメント），またネットワークを改善し、仲間のグループとの支援と連携を経験すること（社会的エンパワーメント），さらに政治的文脈と個人の権利について理解した上でより広い社会参加を行う権利を得ること（政治的エンパワーメント）である。

家庭内暴力のレベルが上がったというエビデンスはなかった。女性たちがパートナーや家族から尊重され、家庭内の意思決定に参加する権利を獲得するにつれて、ESHGが家庭内暴力を減少させる可能性があるということが量的データによって示唆されている。ESHGに参加した女性が失望や不信感、スティグマを経験したと報告する研究はほとんどなかった。一方でESHGは最貧層のひとたちには届いていなかった。「貧困層のなかでも最も貧しいひとたち」は、経済的・宗教的理由や、自主的選択のメカニズムからESHGに参加していない。

このレビューの結果は何を意味するのか？

ESHGには、女性たちを経済的、社会的、政治的にエンパワーメントできる可能性がある。トレーニングの要素はESHGのエンパワーメントの効果を強化するためのデザインの一つとして捉えるべきである。ESHGのデザインはまた、その地域に合わせて行われるべきであり、ESHGが最貧層の人たちに届けられるよう、参加への障壁に対する対処がなされるべきである。

ESHGに関してはより厳格な質的研究が必要である。これにはESHGがエンパワーメントを増加させる経路やメカニズムについてよりよく理解できるような研究だけでなく、プログラムやトレーニングの要素に関する、より包括的で詳細な説明が含まれる。